科目名	子ども	も学演習	<b>翌</b>				開 講キャンパス	i	抻	園
担当者		赤星	星 ま	ゆみ						
開講年次	3	開講期	通年	単位数	2 必修・選択		必修			
授業の概要 及びねらい	も学の基 集、2) う。また 砂演習で	礎的な知見 調査・実験 、実地見学 ある。	lを高め、 食、3) l とや観察な	と教育・保証 研究調査の レポートの作 などの学習を	基礎的な 成、4) 取り入れ	力を培う。 発表や討論 る。本演習	具体的に 論、5)子 引は4年次	は、1) 育て支援 開講「A	文南 爰体騎 区業研	状資料の収 検活動を行 研究」の基
授 業 の到達目標	1. 貧困問題の社会的背景・構造を理解し、教育や子育てと結びつけて説明できる(理解力・思考力)。 2. 「子どもの貧困」から「子どもの幸福」、「子どもの福祉」という発想に転換して、子ども・子育でを取り巻く問題を考える(理解分・思考力・想像力・創造力)。									
学習方法	文献講読、資料収集、プレゼンテーション資料の作成、発表、討論、調査の実施と調査結果 の整理、レポートの作成、体験学習などを行う。									
テキスト及 び参考書等	大大学・大大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学									
評価基準	・方法	知識・	TELAZZ	到	達	日 部	標	<b>≠</b> TB	=π.	(平中)(今0/
定期試験		川誠・	<b>注</b> 件	思考・判断		意欲・態度	支	・表現	言 <del>作</del> "	価割合%
小テスト等	0	)	0						10	
宿題・授業外	0	)	0		0	(	$\supset$		40	
授業態度					0					
受講者の発表	0	)	0		0	(	0		30	
授業への参加	0	)	<u> </u>		0	(	<u>)                                    </u>		20	
その他										
合 計										100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)										
授業計画(学習内容・キーワードとスケジュール) 第1週 オリエンテーション(ゼミ・教員紹介、ゼミの配属方法についての説明)										
第2週   第2週   研究室訪問(選択しようとするゼミの教員を訪問し、研究テーマについて話し合う)・希望調査票の提出   第3週   ゼミ別オリエンテーション (授業の目的、内容、方法)   第4週   「子どもの貧困」について — 資料に基づいて話し合う   第5週   「子どもの幸福」について — 資料に基づいて話し合う   第6週   「子どもの幸福」を考える視点について — 目標と計画の検討 (グループワーク)   第7週   「子どもの幸福」の検討 (1) — 福祉指標の比較 (グループ発表)								票の提出		

技術画(子自り台・イーノートとスクノュール)								
	第1週	オリエンテーション(ゼミ・教員紹介、ゼミの配属方法についての説明)						
	第2週	研究室訪問(選択しようとするゼミの教員を訪問し、研究テーマについて話し合う)・希望調査票の提出						
	第3週	ゼミ別オリエンテーション(授業の目的、内容、方法)						
	第4週	「子どもの貧困」について ― 資料に基づいて話し合う						
	第5週	「子どもの幸福」について ― 資料に基づいて話し合う						
	第6週	「子どもの幸福」を考える視点について ― 目標と計画の検討(グループワーク)						
	第7週	「子どもの幸福」の検討(1) ― 福祉指標の比較(グループ発表)						
	第8週	「子どもの幸福」の検討(2) ― 子どものライフサイクル(グループ発表)						
	第9週	「子どもの幸福」の検討(3) ― 乳幼児期(グループ発表)						
	第10週	「子どもの幸福」の検討(4) ― ひとり親家庭(グループ発表)						
	第11週	「子どもの幸福」の検討(5) ― 子ども期の環境の影響(グループ発表)						
	第12週	「子どもの幸福」の検討(6) ― 子どもの幸福を考える資料の検討(グループワーク)						
	第13週	「子どもの幸福」の検討(7) ― 子どもの幸福を考えるポスターの作成(グループワーク)						
	第14週	「子どもの幸福」の検討(8) ― 子どもの幸福についてのポスター発表、全体討論						
通	第15週	まとめとふりかえり(相互評価・自己評価を含む)― 個別の課題意識の発見に向けて						
	第16週							
	第17週	ガイダンス(研究テーマの決定に向けて、調査・研究における配慮事項と倫理、マナーについて)						
年	第18週	個別課題の研究構想の検討(目的・方法)						
	第19週	個別課題の基本的な視点について(1)(個人発表)						
	第20週	個別課題の基本的な視点について (2)(個人発表)						
	第21週	E. S. 13 4 4 13 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4						
	第22週	子育て支援活動(子どもミュージアム) ― リハーサル						
	第23週	子育て支援活動(子どもミュージアム)						
	第24週	子育て支援活動(子どもミュージアム) ― ふりかえり						
	第25週	卒業論文作成にむけて(1) ― 個別課題についての資料収集						
	第26週	卒業論文作成にむけて(2) ― 個別課題についての予備報告(PPT)の作成						
	第27週	卒業論文作成にむけて(3) ― 個別課題についての予備報告の発表						
	第28週	1 3144111 341 - 2 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4						
	第29週	1 STANIA STATE OF STA						
		卒業論文作成にむけて(6) ― 個別課題についての研究計画の作成						
	第31週	まとめとふりかえり(相互評価・自己評価を含む)、卒業論文作成に向けての確認事項						
	第32週							
本授業の一環として、西九州大学子ども研究ネットワーク主催事業「子どもミュージアム」								
備	考	参加する。授業内容・方法・順序等については、受講生の興味関心に応じて、相談のうえ、修 エナラ まか 東南東後の必知理順の切った人を禁ਆかは要認施は、極楽問格はに配けたフ						

正する。また、事前事後の学習課題の提示を含む詳細な授業計画は、授業開始時に配付する。